

学会制度と新制度の研修修了要件対照表（差分のみ）／

移行措置で新制度に準じるための追加の修了要件

		学会制度	新制度	具体的対応	
研修期間		3年	3年 ※「特定の理由のある場合の措置」あり	「特定の理由のある場合の措置」を希望する場合、新制度に準じた中断申請書の提出 ※措置の適用希望がなければ不要	
研修項目評価	1.総論「医の倫理」「安全管理」	必須でない	必須	右記の評価を受ける	研修手帳の総論「医の倫理」「安全管理」の項目でA-Cの評価を受ける 【共通講習_医療倫理(必修)】日本精神神経学会におけるCOI申告の実際：総論から各論まで（稲垣 中） 【共通講習_医療倫理(必修)】医療倫理/臨床倫理と治療同意：治療同意が得られない場合にどうするか（新村 秀人） 【共通講習_医療倫理(必修)】医学研究における利益相反管理（飯田 香緒里） 【共通講習_医療倫理(必修)】人格主義医学倫理学の新たな展開－ヒポクラテスの医の倫理の現代化とグローバル化の最前線－（秋葉 悦子） 【共通講習_医療安全(必修)】臨床現場におけるリスクマネジメント（大磯 義一郎） 【共通講習_医療安全(必修)】医療安全の最新の話題（相馬 孝博） 【共通講習_医療安全(必修)】医療安全のABC（藤澤 大介）
	2.総論「感染対策」	研修項目なし	必須	右記eラーニングから1つ以上受講する	【共通講習_感染対策(必修)】精神科病院における新型コロナウイルス感染症対策（鈴木 健一） 新型コロナウイルス感染症・災害に関して精神科に必要な危機管理（高橋 晶） 【共通講習_感染対策(必修)】COVID-19含めた感染対策と「次」の話題（勝田 吉彰） 【共通講習_感染対策(必修)】日本のコロナ感染症対策（横倉 義武） 【共通講習_感染対策(必修)】抗菌薬の考え方・使い方（前崎 繁文）
多職種評価	3.多職種評価	なし	あり	右記から1つ以上実施する	学術総会の多職種協働委員会シンポジウムへの参加 多職種協働委員会主催のフォーラム（研修会）への参加 eラーニング「多職種協働が動き出す時」（第119回学術総会 委員会シンポジウム35）の受講
経験症例	4.てんかん・睡眠障害	必須でない	1例ずつ必須	右記の経験症例を1例以上ずつ登録する	経験症例の登録（[G40, G41]、[F51, G47]1例ずつ必須）
				【代替要件】 経験症例を登録できない場合、右記から対応するカテゴリのeラーニングを1つ以上受講する	てんかんのeラーニング 精神科医のためのてんかん臨床の最前線（谷口 豪、栗田 紹子、小野 智恵、伊藤 ますみ、西田 拓司） 睡眠障害のeラーニング 不眠症診療～睡眠薬の適切な使い方～（内村 直尚） 2014年度精神科薬物療法研修会eラーニング【睡眠薬】（内山 真）
5.学会発表		必須でない	必須	右記を申請する	学会発表する ※自身の研修開始日以降の学会を対象とする 【代替要件】右記を申請する 論文発表、一般向け・医療関係者向けの講習会講師実績、博士号取得など、ふさわしいと思う内容を自由に申告（個別審議）
6.学術総会参加		必須でない	2023年度から必須	右記を申請する	学術総会（オンデマンド配信含む）へ参加する ※自身の研修開始日以降の総会を対象とする 【代替要件】右記を申請する ふさわしいと思う内容を自由に申告（個別審議）